

東峰村社協だより

第107号
令和6年7月15日号
東峰村社会福祉協議会
事務局（喜楽来館内）
☎ 0946-74-2012

東峰村社会福祉協議会役員（理事・監事）

役職	氏名	選出母体
会長	岩田 涉	民生委員児童委員協議会
副会長	高取七 絵	学識経験者
理事	佐々木紀嘉	老人クラブ連合会
理事	黒川隆康	東峰村議会
理事	坂口昭太郎	社会福祉法人の役職員
理事	梶原孝司	行政関係
監事	梶原浩二	財務管理について識見を有する者
監事	阿波祐理子	社会福祉事業について識見を有する者

（代わられた方は太文字標記の方々です。）

東峰村老人クラブ連合会本部役員

役職	氏名	単位クラブ名
会長	佐々木紀嘉	福寿会
副会長	黒川隆康	大原会
副会長	梶原孝文	鶴窓会
女性部長	太田 芳子	寿 会
女性部長	仲道 玲子	福寿会
会計	梶原一 清	長命会
会計	熊谷正義	長寿会
監事	梶原光春	長生会
監事	川村卓三	宝寿会



4年生では、『年をとるってどういこと？』と題し、高齢者疑似体験をとおし、2学期に行く施設訪問に向けて、高齢者理解を深めました。福祉教育は子どもたちだけでなく、この世代でも開催できます。ご興味のある方がいましたら、社協までご連絡ください。

理事会・評議員会の開催

5月29日（水）に理事会、6月18日（火）に評議員会を開催し、令和5年度の事業報告及び収支決算などを審議していただきました。令和5年7月13日に災害ボランティアセンターを設置し9月末までセンター運営を行いましたので、当初予定していましたが一部変更や延期を行うなどして対応しました。令和5年度の事業報告及び収支決算については、次頁に概略を掲載しています。また、役員の一部改選がありましたのでお知らせします。

老人クラブ連合会総会の開催

4月16日（火）にいずみ館で、東峰村老人クラブ連合会の総会を開催しました。今年度は役員改選が行われ、令和6年度の本部役員が決まりました。また令和6年度の事業計画や、予算などを審議していただきました。休会していましたが長命会（栗松・板屋地区）が、昨年6月に再加入していただきましたので、現在の単位クラブ数は8クラブ、会員数は昨年より増え403名となりました。令和6年度も事業への参加など、会員の皆様方のご協力よろしくお願い致します。

東峰学園での福祉教育の開催

6月14日（金）に7年生、18日（火）に4年生へ向けて、福祉教育を実施しました。福祉教育とは、『ふだんのくらしのしあわせ』について、みんなで気づき、考え、自分の人生や地域をより良くしていくための学びの時間です。今回は、東峰村にある社会福祉法人の連携した取り組みの一環として、特別養護老人ホーム清和園と宝珠の郷、社協の3法人で福祉教育を行いました。7年生では、『みんなが過ごしやすい東峰学園プロジェクト』と題し、高齢者や妊婦等の疑似体験をしながら、校内を探索しました。その中で、みんなが過ごしやすいように配慮してあるモノや場所、人など、たくさん東峰学園のいいところを見つけてきました。

高齢者大学・いきいき教室の開催

5月14日（火）に令和6年度の「高齢者大学」及び「いきいき教室」の開講式を行いました。今年度も毎月1回（第2火曜日）に、午前中「高齢者大学」、昼食を挟んで午後から「いきいき教室」を開催し、33名の方々が受講されています。5月は「高齢者の気を付けたい詐欺被害と交通安全」をテーマに、小石原駐在所の田中直斗さんの講話、6月は日田市より川良喜美雄さんにお越しいただき「ハーモニカカラオケ」を行いました。午後からの「いきいき教室」では、軽運動や脳トレなどを行っています。



認知症予防教室の開催

単位老人クラブごとに開催しています。認知症予防教室を5月16日に長命会、6月20日に寿会、7月11日に長生会で開催しました。講師として、福岡県認知症医療センター朝倉記念病院の精神保健福祉士及び作業療法士の方々にお越しいただき、「認知症とその予防について」の講話のあと、認知症予防のための「脳トレ」を行っていただいています。認知症は、早期発見・早期対応が大切です。悩むよりは相談してください。



シルバークッキング教室の開催

単位老人クラブごとに開催しています。シルバークッキング教室を、6月27日に大原会で開催しました。今年度は、認知症予防教室も開催していますので、「認知症」を共通テーマとし、シルバークッキングでは「認知症予防のための食生活」と題し、管理栄養士の床嶋先生からの講話と調理実習を行なっています。調理のあとは、参加者の方々と楽しい食事も行なっています。



口腔機能向上事業あなたのお口見守り隊

5月19日（日）と6月2日（日）の2日間、村の総合検診にあわせ、歯科衛生士の樋口先生にお越しいただき「お口の相談会」を開催しました。歯や口の健康が衰えると、それをきっかけとして全身に悪影響がおよび、やがて寝たきりなどの要介護状態に陥ってしまう危険があります。2日間で11名の方々が相談を受けられましたので、相談後の結果説明会を、6月24日（月）と7月4日（木）に開催し、樋口先生より歯磨き指導などを行っていただきました。



寄付金

令和6年4月13日より令和6年7月12日までの間に、次の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。

- ◎香典返し寄付
- ・西福井地区 猿喰 (故 敦子 様)
- ・熊谷 透 様 (故 敦子 様)
- ・小石原鼓北区 蔵貴 (故 伸子 様)
- ・高倉 國光 様 (故 伸子 様)
- ・小石原鼓北区 蔵貴 (故 伸子 様)
- ・高倉 寛視 様 (故 清美 様)
- ・竹地区 竹の中 (故 タヌミ 様)
- ・梶原 英治 様 (故 タヌミ 様)
- ・東福井地区 紙屋の上 (故 英治 様)
- ・岩下 総 様 (故 英治 様)
- ・東福井地区 延田の上 (故 英治 様)
- ・佐々木 克文 様 (故 ツヤ子 様)
- ・小石原鼓北区 鶴 (故 一枝 様)
- ・梶原 清文 様 (故 一枝 様)
- ・栗松地区 栗林の上 (故 コリ子 様)
- ・熊谷 芳文 様 (故 コリ子 様)
- ・東福井地区 延田の下 (故 アキヨ 様)
- ・佐々木 哲雄 様 (故 アキヨ 様)
- ・東福井地区 紙屋団地 (故 昭子 様)
- ・鬼丸 初枝 様 (故 昭子 様)

この寄付金は、村内の社会福祉事業のため大切に活用させていただきます。

この広報誌は共同募金の配分金を受けて発行しています



7. 訪問型介護予防事業

◆ 配食サービス事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
配食数	125	122	132	105	100	95	99	91	94	93	96	111	1,263

8. 通所型介護予防事業

<p>◆運動器の機能向上事業（機能訓練事業）</p> <p>毎週金曜日喜楽来館で、事業対象者の方々を対象に機能訓練を行いました。年間実施回数 42 回、年間参加者延数 250 名</p> <p>◆運動器の機能向上事業（通所リハビリ教室）</p> <p>理学療法士の指導のもと、トレーニング器具を活用し、運動機能低下の予防並びに運動器の機能向上を目的とした通所リハビリを行いました。年間実施回数 45 回 年間利用者延数 153 名</p> <p>◆健康運動教室</p> <p>単位老人クラブごとに「ロコモテスト」を実施しました。8クラブで実施。参加者延べ数 112 名。</p>	<p>◆ シルバークッキング事業</p> <p>単位老人クラブごとに公民館を使用して開催をしました。講師の床嶋先生より「ロコモティブシンドローム予防のための食事」について講話を行いました。7クラブで実施。参加者延べ人数 96 名。</p> <p>◆ 口腔機能向上事業（あなたのお口見守り隊事業）</p> <p>高齢者の摂取・嚥下機能の低下を早期に発見し、悪化防止の観点から、歯科衛生士による口腔機能の向上のための教育や口腔清掃、摂取、嚥下機能に関する指導を行ないました。</p>
---	---

9. 任意事業（家族介護者支援事業）

<p>◆ 地域福祉セミナー</p> <p>住民の方々が暮らしやすい東峰村を創っていくため、地域住民で地域課題を考える機会や情報提供の場を設け、地域福祉の推進に取り組みました。年3回開催 参加者延べ数 64 名</p>
--

10. その他の事業（高齢者生きがいづくり事業）

<p>◆ 高齢者大学</p> <p>高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを目的に「高齢者の気をつけたい詐欺被害と交通安全」「東峰村の高齢者とサービスについて」等をテーマに講義の開催。日帰り研修も実施しました。参加者延べ数 205 名。</p> <p>◆ いきいき教室</p> <p>高齢者大学の午後の事業「いきいき教室」として、軽体操やレクリエーション、認知症予防などに関する講話や実技を甘木中央病院の作業療法士の方に実施していただきました。</p> <p>◆ 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス…8月に実施、利用者数 18 名。</p> <p>◆ 生活支援体制整備事業</p> <p>協議体を2回開催。主なテーマについては、「いきいきサロン活動」「移動スーパー事業」「買い物ツアー」「社会資源マップ作成」などについて協議を行いました。・買い物ツアーについては3回実施。参加者延数 44 名</p>

令和5年度 収支決算報告 (円)

収入項目	金額	支出項目（事業名）	金額
会費収入	6,000	法人運営事業	29,617,960
寄付金収入	1,215,000	共同募金事業	853,400
補助金収入	16,622,000	居宅介護事業	8,031,959
受託金収入	27,226,602	受託事業	20,925,480
事業収入	2,375,074	喜楽来館管理運営事業	3,985,875
介護保険収入	7,129,150		
障がい者福祉サービス収入	458,610		
共同募金配分金収入	5,294,678		
雑収入	1,353,298		
前年度繰越金収入	7,769,402		
合計	69,449,814	合計	63,414,674

令和5年度 東峰村社協事業報告及び決算報告（概要）

1. 法人運営・共同募金事業

<p>1.会議の開催</p> <p>理事会(4回)・評議員会(3回)・監事会(2回) 評議員選任・解任委員会(1回)</p> <p>2.研修会及び会議への参加</p> <p>民生委員児童委員との定例会・ケア会議・集落支援員との定例会・両筑地区社会福祉協議会・朝倉介護保険事業者協議会など</p> <p>3.インターネットを活用した情報発信</p> <p>社協事業の周知や情報発信の充実、法人運営の透明性を図るためホームページを公開しました。</p> <p>4.児童福祉の推進</p> <p>福祉教育教材「ともに生きる」及び福祉教育読本「ともに生きる」の配布、夏休み親子会活動への助成</p> <p>5.母子・寡婦福祉会研修事業援助</p> <p>母子寡婦福祉会への助成・総会及び母子寡婦の集いの開催・役員会年1回開催</p> <p>6.身体障がい者福祉事業の推進</p> <p>身障者福祉協会への助成・総会の開催・グランドゴルフ大会への協力・役員会年3回開催</p> <p>7.戦没者遺族会援助</p> <p>戦没者追悼式及び総会の開催・役員会年4回開催</p> <p>8.ボランティアセンター運営事業</p> <p>社協で保有するレクリエーション用具の貸出を行ないました。</p> <p>9.福祉用具貸出</p> <p>社協で保有する車イスの貸出を行い、介護者の負担軽減を行いました。・利用者 13 名</p> <p>10.日常生活自立支援事業</p> <p>11.ふくおかライフレスキュー事業</p> <p>生活困窮者等に対する相談や支援事業である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しています。</p> <p>12.村内社会福祉法人情報交換会</p> <p>社会福祉法人に「地域における公益的な取組」が責務化されましたので、村内の社会福祉法人（宝珠の郷、清和園、社協）で協議を行っています。</p>	<p>13.高齢者福祉の推進</p> <p>老人クラブ連合会総会・女性部タオル回収・グランドゴルフ大会の支援・役員会年7回開催</p> <p>14.敬老の日を祝し記念品の贈呈</p> <p>行政との共催で70歳、77歳、88歳、100歳以上の方々へお祝いの品を贈呈しました。</p> <p>15.広報誌（社協だより）年4回発行</p> <p>16.共同募金広報誌の発行 年1回</p> <p>17.ひとり暮らし高齢者交流事業</p> <p>東北復興支援として東北協同事業開発が企画した「おうちで東北」の商品セットを96名の方々へお配りしました。</p> <p>18.福祉協力校助成事業</p> <p>村内の小学校・中学校へ社会福祉への理解と関心を高め心豊かな人権感覚を養うことを目的に助成を行いました。</p> <p>19.東峰学園での福祉教育</p> <p>中学部7年生を対象に、「日本がもしも、2000人の村だったら?」「みんなでたのしもう大作戦!～だれもがたのしめるヒント講座～」をテーマに2回開催しました。</p> <p>20.視察受け入れ</p> <p>東峰村社協の被災者支援や地域福祉活動の取組みについて、熊本県球磨村社会福祉協議会・西原村民生委員児童委員協議会の方々が視察に来られました。</p> <p>21.東峰村災害ボランティアセンター活動</p> <p>令和5年7月7日からの大雨災害に伴い、東峰村災害ボランティアセンター設置・運営、ボランティア活動を行ないました。</p> <p>22.葬祭扶助事業の実施</p> <p>23.歳末たすけあい事業の実施</p> <p>70才以上のひとり暮らし高齢者の方々へお蕎麦をお配りしました。また施設入所者の方々へお見舞い金の贈呈</p>
---	--

2. 介護保険事業

◆ 東峰村社協ケアプランサービス事業所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	31	30	28	25	26	31	31	30	33	33	35	34	367

◆ 東峰村社協ホームヘルプサービス事業所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	15	15	15	9	9	10	11	11	10	11	11	12	139

3. 心配ごと相談事業

<p>・年4回(5月10日・10月11日・12月13日・3月13日)喜楽来館といずみ館で交互に開催。相談件数としては4件・相談員(民生委員児童委員・人権擁護委員・行政相談員・司法書士の方々)</p>

4. 生活福祉資金貸付事業

<p>・低所得世帯、身障者、高齢者世帯等へ生活と経済的自立を図ることを目的に貸付を行ないます。</p>

5. 福祉バス運営事業

<p>・遺族輸送については12回利用。一般団体利用については5回利用。買い物ツアーについては3回利用。</p>

6. ミニシルバー人材センター事業

<p>・草刈り作業や庭木伐採など、草刈作業等64件依頼、年間作業人員64名、年間作業時間975時間</p> <p>・いずみ館お風呂清掃年間作業時間222時間。</p>
